

## No.2532

天上の湿原と草紅葉で秋を満喫する

### 苗場山

実施日 2011年10月9日(日)~11日(火)

天候 晴れ

リーダー 島本 陳重

参加者 佐藤金治、涌井良明、島本陳重、山崎富美恵、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子 計9名

費用 JR13,550円 タクシ-2,040円 宿泊費16,000円 合計31,540円

タイム 10/9 越後湯沢駅(9:10タクシー)和田小屋(9:45~9:50)下の芝(11:00~11:10)中の芝(11:50~12:20)神楽ヶ峰(13:00~13:20)苗場山(13:20)苗場山自然体験センター(14:55) 泊  
行動時間 5時間45分

10/10 苗場山自然体験センター(7:00)龍ノ峰(7:45)苗場山(8:30~8:35)深穴の大岩(10:00)フクベノ平(11:25~11:55)赤湯(14:00) 泊  
行動時間 7時間

10/11 赤湯(7:55)林道終点(10:00)ゲ-ト(10:40)越後湯沢駅(12:10タクシー)  
行動時間 4時間55分

9日 タクシーを2台予約をしていたが、待っていたのはジャンボタクシー1台であった。

安くつき勉強させられる。和田小屋に近づくと連れ道路わきには多くの車が駐車している。

初日は中村さんに先頭を譲る。昭文社の地図では湿気の多い道と書いてある



が、水のない川の中を歩いているようだ、石の表面がざらざらしていて滑りにくくて、そ

れなりに歩きやすい。

心配をしていたがここには秋が始まっていた。下の芝で一息入れ、中の芝に向かう。

真っ赤な紅葉の中に休憩所が舞台のよ



うに現れる。ここで昼にするが人が多く休憩所には入れず。

中の芝を過ぎる

あたりからは展望が開け、ダム湖や上越の山が見える。神楽ヶ峰を過ぎ股すり岩をまたぐと、目の前には苗場山への稜線が目に入る。



雷清水で水を補給し、最後の登りに向かう。結構な急登であるが、すれ違う人の

励ましと秋色の展望に気をとられ何とか頂上に。

遊仙閣の裏の頂上の標識で鐘をたたき、広大な山頂の木道を小屋に向



かって歩く。苗場山自然体験交流センターはきれいで良い小屋だ。



10日 今日は思ったほど寒くなく、渋谷(京)さん先頭で龍ノ峰に向かう。

広大な湿原、池塘の中の木道を歩く。北アルプスの白馬から穂高を一望にしながら。



ら。カシ米尔では30分ぐらいの行程で龍ノ峰に着く予定であったが、45分ほど歩いたところで涌井さん持参のGPSが龍ノ峰を大きく外れそうだと提案で、そこから引き返すことになった。

道はきれいな木道でどこまでも歩けそうな道である。苗場山に戻り一息入れ、赤湯に向かって青空に映える



小屋と湿原を後に下り始める。湿原を過ぎ急坂にかかると、鎖も

現れるが展望もよく快適な下りである。

フクベノ平では、ブナの巨木が大きな空間を作り、光を



受けて、なんと気持ちのいい森なのかと。赤湯への最後の登りをこらえると下

には小屋が、河原を歩いて小屋に、別館を貸切で最高のもてなしを受ける。

11日 雨上がりの道を雨具のズボンをはいて歩き始めるが、それほどぬれていなくて途中で脱ぐことになる。

モヤがかかり神秘のブナの森の中を、皆さんまだ眠りから覚めないのか黙々と下りる。全体的には道が崩れていたところも何箇所かあったが歩きやすい山だった。



この先ゲートを過ぎると、道が崩れ橋から先には車が入ることはできない。

ゲートでタクシーを呼び、途中で拾ってもらうことになる。

ありがとうございます。

(記・島本 陳重)

(写真提供・涌井 良明)